

「集落の良さって何だろう」

小菅地区 真島 一徳



私の集落では、毎年9月に村内組対抗のゲートボール大会が行われます。

朝6時から公民館役員、伍長（組長）、老人会、区役員等が会場整備コート作りと大会準備を行い、8時ごろから開会式、大会が始まります。

当日は、普段はあまり公民館行事や村内の行事に出て来れないような老人から、ルールも全然知らない者まで、11組60人以上が講堂前の広場に集まり、一つの競技にわいわいがやがや、にぎやかな楽しい一日を過ごします。

入賞チームは酒、ジュースを商品にもらいますが、大会終了後、野外での懇親会でみんなに披露して、その場で飲んでしまします。年に一度の老若男女が何もかも忘れて、村中が変わったようににぎやかな一日です。

時代が変わり人の心も変わってきた様に思うこのごろ、皆が楽しみにしていたはずの地域の活動が苦痛の活動になってきています。しかし、この日だけは区民全員が楽しむ一日であります。

車社会の時代になり、歩いてゆつくり挨拶をする機会が少なくなり、朝仕事に出て行つては夕方帰る、家はただ寝るだけ、人の心に余裕がなくなっているのか、頻繁に入ってくるマスメディアからの多様な情報に振り回されながら毎日毎日を過ごしてしまっています。良く言われる少子高齢化の波に負けずに頑張つて地域の活性化と住みやすい地域にするにはどうすればよいか、こうすればという案は無いが、自分の住んでいるところの良さを見つめ、みんなと協力して何かをすることが必要

地区の話題 「100歳おめでとうございます」

3月3日、満100歳を迎えた野口昇一さん、北条の有志の皆さんによりお誕生日のお祝いをしていただきました。長寿の秘訣は？の問いに「何も無いさ、ただ真面目にやります、不真面目でもだめ」ということ、持ち場持ち場で



与えられてきたことをこなしてきただけだよ。食事だつて特別なものはないんだよ。」とお答えいただきました。奥様のかずのさんも10月末には満97歳になられます。
太田公民館 島崎

真島一徳さんは、毎年住民が減少し、少子高齢化の進む時代に、小菅区の一区民としての熱い思いを語っていただきました。
小菅公民館 広報部 真島初子



要だと思えます。

人権学習シリーズ 「ヨメ」

市教育委員長職務代理者 千坂 経悦

最近とみに気になることがある。若者の会話の中に「うちのヨメが・・・」という言葉をしばしば聞く。また、テレビでは芸能人たちがトーク番組で「うちのヨメが・・・」を連発して笑いを取っている。深い意味合いはないのだろう。妻等と言うには気ははずかしく照れ隠しと家庭の中心としての女性を強調して言っているのかもしれない。旧家に生まれ育ち、その因習に強く反発してきた私としてはとても違和感がある。

「嫁をとる」「嫁をもらう」「嫁不足」など「嫁」にまつわる言葉はことごとく「もの」あつかいである。6年前80過ぎて亡くなった母親のことを思う。けつして豊かでない農家に嫁ぎ、朝早くから夜遅くまで身を粉にして働いた。実家に帰るのも姑の許しを得て帰っていた。子どもを産み育てたに従い、姑につくすのが「嫁」であった。つらく悔しく家の片隅で泣いていた母親の姿を思い出す。

それが母親の人生の大半であった。今の若者の「ヨメ」の意味は大きく違ふとおもいますが、自立しきれていない女性の姿をそこに垣間見してしまう。そして、「家制度」の残影をみてしまう。未婚の男女が増えているのもここに一因があるのかもしれない。

私は制度としての結婚と、自由な男女の家庭を築くこととしての結婚観が乖離してきていることが「ヨメ」の意味とおもっている。そして、今盛んに叫ばれている男女共同参画社会（どうもわかりずらい言葉である）をつくりあげる時、地域の社会組織へ参加する意識改革のみならず、男女ともに経済的自立を前提にしなければ対等の立場で活動することがなかなか難しいと思っている。私に成人した2人の娘がいる。二人には「ヨメ」でもなく「嫁」でもない自立した女性になってほしいと願っている。もちろん幸せな家庭を築いてほしいと願っている。



飯山

◇飯山地区ゲートボール大会
3月2日（日）市屋内運動場で開催しました。



ラジオ体操で体をほぐし、初心者対象の講習会を行った後、参加者がA・B・Cの3チームに分かれ、各2試合のリーグ戦方式で6試合を漸く雪がおちつき春の日差しが差す日曜の半日ゲートボールを行い、表彰式の後の恒例の豚汁交流会で楽しめました。

◇広報さんいらっしやい講座
今回は、できるだけ参加しやすい方法ということで、館報やチラシの作成の基礎・ワードでの作成する第一講座を2月26日・28日、実際に課題からチラシや広報誌を作り、公民館の印刷機等の使い方を学ぶ第二講座を3月4日・6

◇第8回かまくらまつり
2月9日（土）、10日（日）

◇第23回パーベキュー オリエンテーリング開催
3月2日（日）、保育園児から人生の大先輩の皆さんに多く参加していただき、16チーム、約120名の参加者のもと、暖かい日差しの中盛大に開催されました。



冬の夜空に綺麗な大輪を咲かせたのナイヤガラもお目見えしました。「来年もキレイな花火が

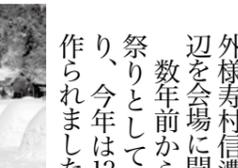
- 卓球（小学生男子）
 - 優勝 小林 正夫
 - 準優勝 内田 弘
 - 第3位 高橋 和弘
- 卓球（女子）
 - 優勝 田中 航大
 - 準優勝 滝沢 祐真
 - 第3位 小市 裕大
- 卓球（女子A）
 - 優勝 峰村 りう子
 - 準優勝 木内 英津子
 - 第3位 田中 日和
- 卓球（女子B）
 - 優勝 高橋 寿美
- 卓球（小学生女子）

作品を展示してみませんか

総合学習センターでは、館内の廊下や、市民ギャラリーに作品を展示していただける方を募集しております。サークルや団体、個人での参加もOKです。発表の場としてご利用ください。

申込み受付は、飯山市美術館（TEL②1501）までお問い合わせください。

◇春休み「ぞうり作り」体験
3月25日（火）午後1時30分から、地域の先達や「棚田の杜ほくずい」の皆さんとビニール紐や古布を使って、ぞうり作り挑戦します。



外様寿村信濃平観光案内所周辺を会場に開催されました。数年前から地域をあげたお祭りとして取り組まれており、今年も13個のかまくらが作られました。

◇平成19年度 囲碁将棋オセロ麻雀卓球大会
2月17日（日）常盤公民館を会場に開催されました。外は季節はずれの大雪でしたが、会場では熱い戦いが展開されました。

◇星フル村で雪像づくり
2月8日（金）、「星フル村の雪まつり」開催に協力して、公民館役員全員で戸狩スキー場ゲレンデに雪像をつくりました。



3月2日（日）、太田地区活性化センターを会場に開催された、20年度事業計画の事業計画承認されました。